

使用説明書

重要 強く大きく30回以上振ってください。

しっかり振らないと、ゆるいホイップや液状になり、目に入る場合があります。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

? 本品に限らず、ヘアカラーでかぶれの症状がでたことはありますか?

YES 絶対にヘアカラーをしないでください

かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応[※]が突然起こることがあります。**(※全身じんま疹、呼吸困難等)

NO 毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

▲ 使用上のご注意

- 1 次の方は使用しないでください。**
- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
 - ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
 - ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
 - ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
 - ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
 - ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
 - ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

- 2 使用前のご注意**
- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
 - ② 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
 - ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
 - ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
 - ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

- 3 使用時のご注意**
- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
 - ② 換気の良い所で使用してください。
 - ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
 - ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
 - ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
 - ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。

- ⑦ 万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑨ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

- 4 取り扱い上のご注意**
- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
 - ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。

- 5 保管上のご注意**
- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
 - ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

- 他に守っていただきたいこと**
- ① 幼児には使用しないでください。
 - ② 公衆浴場等のご使用は、汚れ等で周囲の人の迷惑になりますので、ご遠慮ください。
 - ③ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
 - ④ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますのでご注意ください。
 - ⑤ 高温や直射日光を避けて保管してください。高温になった製品をそのままご使用になりますと、しっかりしたホイップができません。このような場合は、混合前に、室温20~30℃に1時間以上置いてからご使用ください。

- 使用前に知っておいていただきたいこと**
- ① 使用前に必ずご自分の髪色と仕上がりがイメージを箱の裏側でご確認ください。
 - ② ヘアカラーやヘアマニキュアで暗く染めた髪を明るくすることは困難です。
 - ③ ヘアマニキュア等で染めている髪は、色合いが変わったりムラになったりして、希望の色に染まらないことがあります。

より詳しい情報はこちら

●ヘアカラーによるかぶれの情報

ホーユー パッチテスト 検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html

商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時~午後5時

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストを行ってください。

- 1 次のものを準備します**

箱の中に入っているもの: 1剤, 2剤

用意するもの: 綿棒, 小皿等(※金属製のものを使用しないでください), ティッシュペーパー等

綿棒・小皿が用意できない場合: 手袋をして、薬剤をシェイカー容器のキャップに出し、指で混ぜ合わせることもできます。
- 2 パッチテスト用の混合液をつくります**

① 1剤を綿棒につたわらせて、ごく少量を小皿等に出します。 ② 2剤を綿棒につたわらせて、1剤の2倍量を出します。 ③ 綿棒で混ぜ合わせます。

※1剤・2剤はキャップをしっかりしめ、大切に保管してください。
- 3 腕の内側にぬって48時間放置します**

① 混合液ができたら、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。(②で、指で混ぜた方は、そのまま指でぬってください。手袋とキャップは洗浄して保管してください。) ② 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。 ※時間を必ず守ってください。

10円硬貨大

●ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。

●混合液をぬった所は絆創膏等で覆わないでください。

●パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。やむなくシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。
- 4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します**

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合液を洗い落としてヘアカラーはしないでください。
- 5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください**

※パッチテストの結果、万一異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。

※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちていきます。

ご使用前の準備

- 注意**
- 寒い所では染まりにくいので、室温が20~30℃の場所でお使いください。また、薬剤は常温に戻してからお使いください。
 - 髪のかままりを防ぐために、必ず髪をとかしてください。
 - 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
 - シャンプーは、なるべく染める前日までに済ませてください。整髪料や洗い流さないトリートメント等が髪についているときは、薬剤を髪につけたあとにたれ落ちしやすくなりますので、十分に洗い流してください。また、髪の汚れがひどいとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときも、十分に洗い流してください。
- [やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]
- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
 - 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれて目に入ったり、染まりが悪くなる場合があります。

便利なグッズは、オンラインショップでご購入できます。

ホーユー サポートグッズ 検索

油性クリーム・ケープ等

- 1 必要なものをそろえます**
- 箱の中に入っているもの: 1剤, 2剤, シェイカー容器, 手袋, 使用説明書, アフターカラー美容液(洗い流さないタイプ)
- 用意するもの: 化粧ケープかタオル, ティッシュペーパー等, 新聞紙等の敷物, 水をはじく油性クリーム, 汚れてもかまわないタオル, 鏡, 時計, シャンプーとコンディショナー等

2 汚れ対策をしてください

- ① 汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。
- ② 化粧ケープかタオルで衣服をガードします。 ※たれ落ちしたときのために、汚れてもかまわないタオルを、さらに肩や首に巻くことをおすすめします。
- ③ 水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあし、腕等にぬります。薬剤が皮膚についても落とすやすくなります。 ※ただし、油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので、ご注意ください。
- ④ メガネ、コンタクトレンズやアクセサリ等は、はずしてください。
- ⑤ 新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。 ※特に、衣服、たたみ、じゅうたん、壁、家具等に薬剤がつくと色が落ちませんので、ご注意ください。

ご使用の手順

ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。

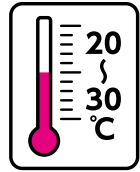


すぐ分かる！染め方動画



重要 薬剤が温まりすぎると、ホイップになりません。

混合前に、薬剤を
室温 20～30℃の場所に
1時間以上置いてから
ご使用ください。



注意 ● 薬剤が目には絶対入らないようご注意ください。
汗をかくと、薬剤がたれて目に入るおそれがあります。高温・多湿の場所（お風呂等）では染毛しないでください。

目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。



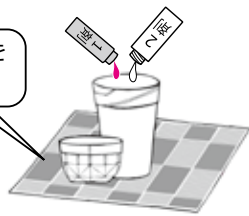
● 染める2日前（48時間前）に毎回必ず、皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。

ホイップをつくります

1 シェイカー容器に、1剤と2剤を**全量**入れます。

すぐに

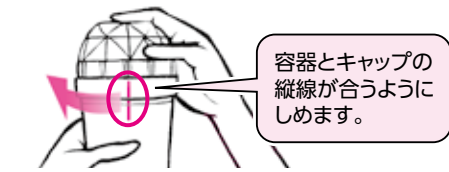
必ず新聞紙等を敷きましょう。



注意 ● 使い切りタイプなので、1剤・2剤は分割使用できません。残した1剤・2剤は、染毛効果が弱くなり、希望の色になりません。
● 必ず使用の直前につくり、混合から塗布まで、途中で中断（放置）しないでください。
● 1剤と2剤を入れて放置すると、ホイップができにくくなりますが、品質には影響ありません。

2 キャップをしめ、両手で強くしっかり振ります。

すぐに



容器とキャップの縦線が合うようにしめます。

注意 ● 容器を強くにぎらないでください。容器が変形して、薬剤がこぼれるおそれがあります。
● 落とさないように両手でキャップと容器をしっかり持ってください。

重要 両手でしっかり振ってください。

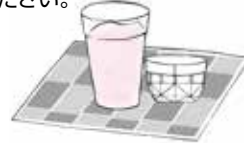


強く大きく、30回以上振る

※ 振っている感覚がなくなっても、振り続けてください。
※ しっかり振らないと、ゆるいホイップや液状になり、たれ落ちや目に入る場合があります。

3 キャップをあけます。

● ホイップがこぼれないように、必ず新聞紙等の上で、容器を傾げずに静かにあけてください。



注意 ● キャップをしたまま放置しないでください。ガスが発生して容器が破裂したり、薬剤があふれ出るおそれがあります。
● もう一度キャップをしめたり、振り直さないでください。飛び散り等のおそれがあります。

※ ホイップの質や量は、振り方や薬剤の温度等により異なります。
※ ホイップの色は仕上がりの色とは異なります。

乾いた髪に、ホイップをぬります

ぬる時間 **10分**

4 手袋をはめ、ホイップを手ですくって、髪全体に**たっぷり**ぬります。

● 初めて染める方も、新しく伸びた部分を染める方も、同じ使い方です。



注意 汚れにご注意ください。
● 薬剤があまり地肌につかないようにしてください。薬剤が肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。
● ホイップをぬるときに手ぐしをしたり、にぎるようにすると、たれ落ちることがあります。髪をなでるようにぬってください。
● 過剰にぬると、たれ落ちすることがあります。髪が細い方や少ない方は使用量を調節してください。
● 薬剤をぬった前髪がたれて目に入らないようご注意ください。

ポイント

分け目を変えながら、髪の内側にぬります。

後頭部は上から順に髪を分けながらぬってね。

生え際や耳のまわり、えりあしは、髪を持ち上げるようにしてぬります。

明るくなりやすい生え際や根元部分は、ぬりすぎないでね。

髪の内側にぬったあとは、表面にもぬって毛先のほうにもなじませます。

5 ぬり残しが**ないか**チェックして、**もう一度**しっかりぬり足します。



ぬり残しやすい部分はしっかり！

注意 ● ゆるいホイップや液状のものは使用しないでください。たれ落ちや目に入る場合があります。
● もう一度振り直さないでください。手やシェイカー容器についたホイップが飛び散るおそれがあります。

6 ホイップを髪全体に**いきわた**らせます。

● ぬる時間が10分より短かった場合でも、10分たつまでお待ちください。

髪や地肌をいためないように、指を立ててやさしくもみ込んでね。



髪がからまらないように注意してね。

注意 たれ落ち等のおそれがあるので、クシ等で髪をとかささないでください。

放置します

放置時間 **30分**

7 髪をまとめて、30分ほど放置します。

● 細い・軟らかい・明るい・いたんだ髪の方は、**5分ほど短く**、太い・硬い・黒い髪の方は、**5分ほど長く**放置してください。
※ 長く放置すぎないでください。
髪が希望の色にならなかったり、髪や地肌をいためるおそれがあります。
※ 放置中に泡が消えることがありますが、仕上がりに影響ありません。
● 薬剤が肌についていないか確認してください。

注意 ● ラップやヘアキャップをつけないでください。汗をかくと、薬剤が目に入るおそれがあります。



● 残った薬剤は必ずすぐに洗い流してください。放置しておくと、ガスが発生して容器が破裂したり、薬剤があふれ出るおそれがあります。

洗い流します

8 よくすすぎ、シャンプーを2回します。コンディショナー等をして洗い流し、タオルで水気をよくふき取ります。

※ 汚れてもかまわないタオルでふいてください。

すすぎ時に髪のかしみを感ずる場合がありますが、タオルドライ後に添付のアフターカラー美容液を使えばなめらかに仕上がります。



注意 ● すすぎ湯が目に入らないよう、特にご注意ください。
● すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があります。髪をすすぐ前に、浴槽やタイル等をぬらしておくのと汚れが落ちやすくなります。

9 添付のアフターカラー美容液を少量ずつ手に取り髪全体になじませ、よく乾かして仕上げます。

※ 洗い流す必要はありません。

使用後のご注意

● 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので、ご注意ください。
○ 髪がぬれているとき（運動等で汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後等）。
○ 整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
○ ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。
● 次回ヘアカラー（ヘアマニキュアを除く）を使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。